

平成 25 年 9 月 18 日

各位

国際石油開発帝石株式会社  
広報・IR ユニット  
(電話 03-5572-0233)

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト  
陸上ガス液化プラント建設現場（ダーウィン近郊）における建設作業員用の宿舎の  
開所式について（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリアで操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーとともにイクシス LNG プロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めておりますが、本日、陸上ガス液化プラントの建設作業員用のダーウィン近郊の宿舎「マニグラーマ・ヴィレッジ<sup>(※)</sup>（Manigurr-ma Village）」の開所式を執り行いましたので、お知らせいたします。

本日開催された開所式には、北部準州のジャイルズ首相をはじめとする同州政府要人のほか、当社を含む多数の関係者が参加しました。

(※) 「マニグラーマ」とは、この地に自生するユーカリ属の常緑高木を意味し、先住民であるララキア族による呼称



アダム・ジャイルズ北部準州首相（中央右側）および当社関係者

本宿舎には、既に約 300 名が入居しており、向こう数か月にて約 1,000 名の建設作業員が順次入居する予定ですが、今後最大約 3,500 名の建設作業員が収容できる施設として、2014 年半ばの最終期の完成に向け、引き続き建設作業を進めていきます。

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

イクシスLNGプロジェクトについては、本年6月にプロジェクトの主要生産施設の一つである沖合生産・貯油出荷施設（FPSO： Floating Production, Storage and Offloading）の建造に係る起工式を実施し、本プロジェクトに係るすべての主要な施設の建造・建設に着手しておりますが、このたびの陸上ガス液化プラント建設現場における建設作業員用の宿舍の建設などプロジェクト推進に必要な関連施設についても整備を進め、2016年末までに生産開始すべく引き続き開発作業を進めてまいります。

今後も当社は、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進して参る所存です。

以上



イクシス LNG プロジェクト プロジェクト完成イメージ

### イクシス LNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、沖合生産・貯油出荷施設（FPSO： Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なLNGプロジェクトです。

当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に本プロジェクト最終投資決定を行いました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。